

## 10.22 介護に未来を 介護ウェーブ行動！ 学習署名宣伝行動に30名参加 県医労連・民医連・社保協



↑ 武蔵が辻の絵金沢エムザ前で記念撮影 (右上) 講演する林事務局長 (右下) 署名に応じる市民 (左) マスク付チラシを配り、署名を呼びかける労働者のみなさん

10月22日(土)「介護に未来を!! 介護改悪を許さない学習宣伝行動」を県医労連、民医連、県社保協の共催で開催しました。当日は中央社保協の林信悟事務局長を講師に、介護改悪の中身を学習し、そのまま参加者で街頭署名宣伝を実施しました。1時間の行動で介護署名が30筆集まりました。「これ以上介護が悪くなったら大変」「介護も2倍になるの?」と多くの方が署名に協力いただきました。制度の中身をもっと多くの方に知らせ、改悪法案を出させない声を届ける必要があります。

## 2022自治体キャラバンがスタート！

住民のいのちと福祉を守ることを、自治体の第一優先施策に 県内18市町

10月24日(月)、県内18の市町の健康福祉の担当課との懇談を行う自治体キャラバンがスタートしました。この日は内灘町を皮切りに、津幡町、かほく市を回りました。事前に寄せられたアンケートをまとめ資料集を作成、各自治体担当者にも「参考にさせてもらっている」と大変喜ばれています。今年は小中学校の学校給食費の補助制度が7つの市町で動きました。物価や燃料の高騰、医療費増、年金引下げなど、家計にマイナスの影響が続く中で、自治体には住民の暮らしに寄り添った姿勢が問われています。キャラバンは11/22まで続きます。

内灘町での懇談の様子→

